

くしま再発見

霧にたたずむオス馬



霧の草原に野生馬と美しい草花たち

梅雨の季節が始まりますね。天気が悪いと外出は少し控えたところですが、思い切って出掛けてみると、露を含んだ自然の風景もまた素敵なものでしょう。野生馬が生息する都井岬では、温かい季節に雨が降ると、高い確率で濃い霧が発生します。観光客には残念な風景かもしれませんが、一歩踏み出せば特別な出会いがあるかもしれません。真つ白な霧に包まれた草原。足元に注意しながら草原を登ると、一頭の黒いオス馬が浮かび上がりました。静寂に包まれた白い世界で、雨に濡れながらも黙々と草を食み、孤高に生きる野生馬の姿は、なんとも幻想的です。四季折々に草花が楽しめるのも都井岬の魅力。馬が生息する環境で花が咲くこれらの植物たちは、馬が食べないからこそ花が咲くまで育ち、私たちの目に触れていると言えます。前号の広報くしまで紹介したオキナグサやウマノアシガタはキンポウゲ科の有毒植物です。梅雨時期に奇妙な房状の花を付ける絶滅危惧種のフナバラソウ、夏に白い花が咲くセンニンソウ（別名

はウマクワズ）、地元の都井岬振興会の皆さんが植栽されたアジサイも見事に咲きますが、これも有毒成分を含むと言われています。雨に濡れた草花たち。晴れの日はまた違った姿に趣を感じます。

都井岬では、道路の中央やカーブの先に野生馬が居る場合もあります。また、濡れた草原は大変滑りやすくなっています。雨の日の都井岬は、お車の運転や足元に十分お気を付けてください。都井岬ビジターセンターでは、荒天時も都井岬の魅力を満喫できる展示資料の解説ガイドを行っています。皆さまのお越しをお待ちしています。



- 1 馬には食べ残されるウマノアシガタ
- 2 都井岬のアジサイと野生馬(5月下旬～6月中旬)
- 3 絶滅危惧種フナバラソウ(5月～6月)
- 4 センニンソウ(夏)の別名はウマクワズ(馬食わず)

問い合わせ先
都井岬ビジターセンター
 電話：0987-76-1546
 開館：9:00～17:15(月曜休館)

うたごよみ

12の季節

「短歌」串間短歌会選

- ひっそりと関所石碑のたたずみて秋山人の江戸期しのはる
 秋山 久保野 俊郎
- 黙々と女子駅伝の走りゆくたすきにかけける重い思いを
 鍛冶屋 森本 慶典
- 気をつけて差し足でゆく春の畔土筆のぼうや踏まないように
 ゆうゆうの森 林 喜美子
- 陽春に鶯啼きてさわやかにゴルフの音もいと楽しげに
 ゆうゆうの森 田中 キヨ子
- 園広場手押し車で一回り自然の風を腹いっぱい吸う
 ゆうゆうの森 森本 クニ

短歌の投稿は 清水しづ子さんまで(☎7215546)

「俳句」あさひ俳句会選

- 一人喰ふひとりぼっちやさくらんぼ
 串間 島田 ミネ子
- さらさらと日裏日表風若葉
 仲町 木島 幸子
- 延命の是非を問ひをり梅雨最中
 仲町 原 里歌
- 杉伐られ幾何学模様の夏の山
 春日 水元 栄子
- 無人駅に降り立つ姿立葵
 上小路 木島 サイ子

俳句の投稿は 又木順子さんまで(☎7210159)

市長コラム

令和への思い

過ぎ去った平成の30年間に思い返した時に、コンピューターを活用した「スピードの時代」とするならば、令和は「AI時代」(人工知能社会)となり想像できない未知の世界です。高速通信網でつながること、地方と都市部の距離感を超越し、地方の方が生活しやすく心にゆとりのある社会が生まれてくるかもしれません。一方で、人間の思いやりや温かさなどの感情が希薄な社会になる恐れもあります。幸いにも串間には、優しく助け合い、そして支え合いのできる人であふれています。ピカピカの令和1年生が元気よくあいさつをして、友達と楽しそうに登下校をしている姿は、我々団塊世代に夢と希望を与えてくれる存在です。先日、98歳になる高齢者の方が、趣味としてパッチワークや小物づくりなどを元気よくされ、「晴れた日にはエンドウ豆や玉ねぎを栽培する野良仕事に精を出すけど、雨の日には裁縫ができるから楽しみ」と話されています。

「AI時代」とはかけ離れていると思われるかもしれませんが、なんとも温かみがあるように思えてきます。高齢でも、夢と希望があるから楽しみながら生活できる串間の素晴らしい環境だと思います。「いつまでも元気」「いつまでも夢を持つ」「いつまでも幸せを築く」という串間を一緒に目指していきたいと思います。



AI時代のイメージ